

帯広畜産大学公開講座平成30年度前期「市民開放授業」募集案内

趣 旨：本学では、学生が受講している授業科目の一部を市民の皆様に公開しています。公開する授業科目は、基礎科学分野の知識と興味を育むことを目的に、開講している授業です。

講座名等：別紙のとおり

対 象 者：市民一般

受 講 料：1講座当たり9,200円

申込期間：平成30年3月2日(金)～平成30年3月30日(金)

申込み・問い合わせ先：

国立大学法人帯広畜産大学入試・教務課

Tel：0155-49-5411 Fax：0155-49-5319 E-mail：gakumu@obihiro.ac.jp

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

その他：

- ・申込みは、**経理課で受講料を納入後、直接、入試・教務課窓口で手続き**願います。
- ・既納の受講料は、理由如何に関わらず返還することができませんのでご了承願います。
- ・講座の7割以上出席した場合は、本学の修了証書を授与します。
- ・本学学生と共に受講しますが、所定の単位は与えることはできません。
- ・この講座は、道民カレッジと連携しています。7割以上出席した者は、単位認定(22単位)を行います。

----- き り と り せ ん -----

平成30年度帯広畜産大学前期市民開放授業受講申込書

下記のとおり、受講料を添えて申し込みます。

ふりがな 名 前		年 齢	道民カレッジ手帳番号
受講科目			
連絡先	〒	TEL	

別紙

講座名等（平成30年4月5日（木）～平成30年8月16日（木）の間で週1回、全15回程度）

講座名	講師名	講座の概要	曜日／時間	会場
比較美術史	杉田聡	<p>多くの人の努力によって、世界にはたくさんの芸術が開いてきた。この授業では、日本ならびにヨーロッパその他の絵画・彫刻（若干だが建築・工芸品）を見ながら、日本人に特徴的な美的な対象把握の方法とその表現法を、ヨーロッパ人のそれと対比させて浮き彫りにしたい。</p> <p>これを通して、衣・食・住ばかりか政治・経済等において西洋化した日本人が、一方いかに伝統的な美的表象様式を伝承し内面化しているかを理解すると同時に、日本美術ならびにヨーロッパ美術それぞれに対する目を育てられるよう努めたい。</p>	月曜日 13:00～14:30	31 番講義室
教育原理	平舘善明	<p>教育の目的・意義・方法・内容などについての基本的原則や理論的基礎を学ぶ。ディスカッション形式をとりいれながら、受講生各自が教育のあり方についての一定の見解をもつとともに、教育的視野をもって社会の諸問題をみる目を養う。</p>	火曜日 10:30～12:00	大講義室
表象文化論	柴口順一	<p>ヴィクトル・ユゴーの小説『レ・ミゼラブル』をもととした様々な表象のあり方を見ることによって、表象とは何か、表象文化とは何かを考えていきます。それと同時に、当時のフランスの文化、風俗、社会状況等も明らかにします。</p>	火曜日 14:45～16:15	3 番講義室
共通教育総合 I (家畜と環境問題)	西田武弘 他	<p>家畜と環境問題には双方向性がある。すなわち、家畜飼養に起因する地球環境問題と地球環境問題が家畜生産に及ぼす影響である。本授業科目ではこれらの双方向性の課題についてやさしく解説し、内在する環境衛生諸問題を理解するための基礎力を養う。</p>	水曜日 8:45～10:15	5 番講義室
物理学概論	斉藤準	<p>物理学の導入的知識・手法について、講義と演習によって学習する。とくに、エネルギーの考え方にもとづいて、身近な自然現象や科学技術への応用に見られる物理学的背景について、概観を得ることを目指す。</p> <p>コース前半では、まず物体を粒子（質点）で代表させて表し、その運動を調べる。運動は運動方程式によって詳しく分析されるが、主要な性質のみに限れば、力学的エネルギーを用いてより簡単に調べられることを学ぶ。コース後半では、より現実的な物体を質点の集合として表し、それらの力学的エネルギーの合計によってさまざまな現象をエネルギーの観点でとらえる。さらに場とそのエネルギーの考え方を導入することによって、空間を伝わるさまざまな作用も物理的実体として理解できることを学ぶ。</p> <p>こうした概念や手法は、物理学全般への導入としてだけでなく、他の自然科学や応用科学の基礎としても重要である。とくに、前半で学ぶ力学は工学系、後半で学ぶ熱力学や電磁気学は生命科学系の学習にも活用できる。また、本学で開講される「基礎物理学」では、ここで学ぶ物理学（古典物理学）を前提として現代物理学を学び、「応用物理学」ではより現実的な現象への応用について学ぶ。「物理学実験」では古典物理学のいくつかのテーマについて実験を行う。</p> <p>授業では5名程度のグループ演習や演示実験等も交え、能動</p>	水曜日 13:00～14:30	5 番講義室

		的学習（アクティブ・ラーニング）により実践力や汎用的能力を養う。また、授業内外の学習支援のために Moodle を使用する。		
文学	柴口順一	明治期の小説を読みます。当時の表現観や表現意識を探ると同時に、当時の文化・風俗・社会状況等も明らかにしていきます。具体的には、二葉亭四迷『浮雲』、坪内逍遙『当世書生気質』、尾崎紅葉『金色夜叉』、森鷗外『舞姫』の四つの作品を詳しく読みます。	水曜日 13:00～14:30	25 番講義室
教育心理学 I	渡邊芳之	教職免許取得希望者を主な対象として、生徒理解の基礎となる発達理論、教科学習の指導と教育評価についての心理学的知識を学ぶ。教職免許を取得しない学生にとっては、青年期にある自分の発達について理解できること、教育の「よい利用者」になるために必要な教科学習や教育評価についての知識が得られることに意義があると思われる。	木曜日 10:30～12:00	大講義室
社会思想	杉田聡	近代社会は、多様な人々の思想と運動とを通じて形成された。この授業では、ヨーロッパおよび日本の代表的な近代の社会思想（広く政治思想、経済思想を含む）を概観する。これを通じて、人権（人の権利）、労働者の権利、女性の権利、抑圧された諸民族の権利について理解を深めるよう期待する。 思想は、それ自体に意味があるのではない。重要なことは、これをいわば「眼鏡」にして私たちの現実を見つめることである。可能な限り今日の社会的その他の現実について触れつつ、思想が現代社会に生きるものとなるよう努めたい。	金曜日 13:00～14:30	35 番講義室
心理学	渡邊芳之	動物や人間の行動が形成され、変化していく仕組みについて、生得的行動と学習される行動という視点から考える。とくに条件づけによる学習の仕組みに重点を置き、基礎的な理論を確実に学習するとともに、それが動物の行動や人間の行動の問題解決や改善にどのように応用されるかについても学ぶ。	金曜日 14:45～16:15	大講義室
近現代史	佐々木 洋子	19 世紀ヨーロッパ世界が共有した価値観は、その後広く世界に受け入れられるに至った。フランス革命を機に、自由や平等という概念、あるいは人権という考え方が広められ、あるいはまた、イギリス議会が経験してきた王権との確執は、議会制民主主義の意義を人々に認識させた。わけても国民国家のシステムは、20 世紀初頭の世界を席卷したかのように見えた。均質化された国民を創出することによって、国家は経済発展と軍備拡張の実現を容易にし、強国を生み出した。だがそれは、続く帝国主義の時代において示されるように、多くの矛盾を露呈したのである。こうした歴史の過程を分析することによって、これを基盤として成立した、現代社会の問題点を考える。本講義は、高校世界史の知識が充分でない受講者にも、広く近代の歴史的経験を学び、新しい人や社会のつながりについて考察する機会となる。	金曜日 14:45～16:15	5 番講義室

※曜日／時間については、変更になる場合がありますので、ご注意下さい。

※最新のシラバスは 3 月中旬に Web 上で公開されます。記載の内容から一部変更になる場合がありますので、ご了承ください。

（シラバス URL）<https://gkm02.obihiro.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx>